

# SUSUMU KINOSHITA

## 木下晋展

### 生命の旅路

「はじめての旅」から「合掌図」まで—  
画家・木下晋の、長い旅路



103年の闘争 I 2003年

2013年 2014年  
11月12日 [火] - 2月8日 [土]

東京・国九木美術館

埼玉県東松山市下唐子1401 電話 0493(22)3266  
開館時間：午前9時～午後5時(12月～2月は午前9時半～午後4時半)  
休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日

## いのちの年輪 木下晋の世界に

松永 伍一

木下晋の鉛筆による細密表現に初めて向き合った人は、そこから放射される気のとぎものに一瞬たじろぐことだろう。絵に吸い込まれながら同時に拒否されるこの不思議な戸惑いなくしては、かれの思想、かれの世界に出会えないと気がつくのに時間はかからない。

木下晋はなぜ絵具に頼らず鉛筆に賭けたのか。答えは簡単である。ひたすら人間の内面・その闇を抉ることをおのれに課してきたからだ。邪道ではない。多くの画家がそれを志しつつも身を繫してきただけのことである。かれは敢てその困難を選んだ。そしていま木下晋は私たちの前に屹立している。

かれが描いてきた人物—母親をはじめ祖母、妻、娘などの肉親の他、越後瞽女や老人、ニューヨークのホームレス、インドの老人などは、それぞれ職種も異なり、環境も違つていながら、私たちに低い声で慎みを秘めて問いを発する。「どう生きてきたか」「なぜ生きるのか」「生きる値打ちがあったのか」と。しかし答えは強要しない。まず、それを描いた画家が密かに復説する。それに応じて私たちは画面に緻密に引かれた線や陰影からそれらの声を読み取る。まさにシャーマンの口寄せにうなづくように。絵の人物たちの内に蔵したいのちの年輪が匂い立つのはその瞬間だ。うれしいことに鉛筆の色が人間の彩りに変わる。絵具の色では太刀打ちできない鮮烈な人生という彩りに。辛苦を織りあげた人物はその熱いエネルギーを、老残の身は限られた時間を紡ぎながら内深く秘めたいのちの光沢を放つ。私たちはその恵みに浴することができるのだ。

思えば木下晋はおのれのいのちの力で他者のいのちを執拗に鉛筆の芯で追及してきた。それは対象を写実的に描くことでは決してなかった。換言すれば、描いたものの裏側から描けないものを幻影のごとく立ち昇らせることであった。人間を表現するとはそういうことだ。その実践者を間違っても「写実の画家」と呼んではならない。

(詩人、2007年東御市梅野絵画記念館「生の軌跡 1963-2007 木下晋展」より)

### ●オープニングトーク「木下晋の旅路 はじめての旅から合掌図まで」

11月16日(土)午後2時 木下晋+岡村幸宣(原爆の図丸木美術館学芸員)

### ●記念対談「木下晋の仕事をめぐって」

12月21日(土)午後2時 木下晋+水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)

=いずれも参加自由(当日の入館券が必要です)

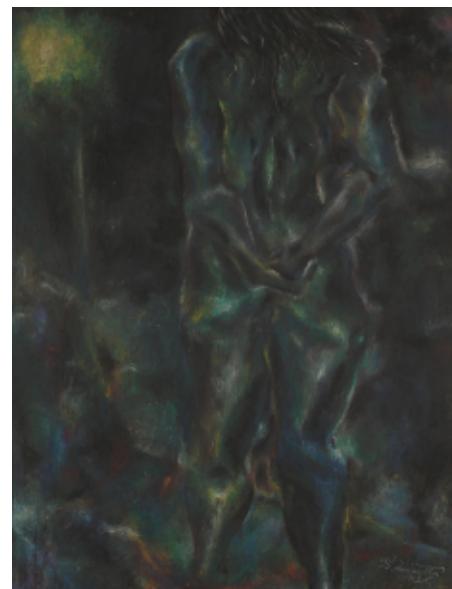
当日は、午後1時に東武東上線 森林公園駅南口に美術館の送迎車が出ます。

※この展覧会は、2014年春に沖縄県立博物館・美術館へ巡回予定です。

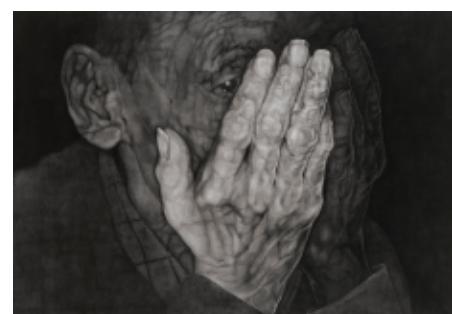
**チラシ持参の方は、丸木美術館入館料が100円割引になります**



はじめての旅(絵本原画) 2013年



起つ 1963年



見る 2011年

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401  
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[U R L] <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

[E メール] marukimsn@aya.or.jp

[交 通] ●東武東上線森林公園駅  
南口よりタクシー10分、徒歩50分  
北口よりレンタサイクル20分

●東武東上線東松山駅・高坂駅より  
市内循環バス唐子コース(日祝運休)  
「净空院入口」「丸木美術館北」下車

●関越自動車道  
東松山インターより小川方面10分

●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩30分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい

### 【市内循環バス唐子コース時刻表】

#### ○丸木美術館行き (日祝運休)

11:12 東松山駅東口→11:29 净空院入口

12:07 高坂駅西口→12:25 丸木美術館北

13:12 東松山駅東口→13:29 净空院入口

15:22 高坂駅西口→15:40 丸木美術館北

16:25 東松山駅東口→16:42 净空院入口

※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。

## 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

[常設展]「原爆の図」連作

「水俣の図」

「南京大虐殺の図」

「アウシュビッツの図」

「水俣・原発・三里塚」

絵本原画、丸木スマス水彩画等

[開館時間] 午前9時～午後5時

(12月～2月は午前9時半～午後4時半)

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12/29～1/3

[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円

小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、  
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引  
障碍(しょうがい)のある方は半額

